

令和3年度第1回 燕市図書館協議会 会議録（要旨）

- 日 時 7月30日（金）午前9時30分～10時30分
- 会 場 燕市民交流センター 3階 多目的ホール
- 出席委員 加藤一夫委員、中濱由佳委員、新井田義一委員、柳原康浩委員
（欠席委員4名より議決権行使書をいただいていたため協議会は成立する）
- 欠席委員 池田忍委員、澤田麗子委員、白椿晴江委員、須田奈都実委員、
田中淳子委員、和平秀樹委員
- 事 務 局 燕市教育委員会 山田教育長、石田社会教育課長、石黒課長補佐、
石村係長、関根主事
指定管理者 石原館長、山田業務責任者（燕市立図書館）
- 報道機関 なし
- 傍 聴 者 なし
- 議 題 報告
(1)令和2年度図書館利用状況について
(2)令和2年度図書館事業実施状況について
(3)令和2年度蔵書点検報告について
(4)令和3年度図書館事業計画について
協議
(1)第2次燕市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

[以下、会議録（要旨）]

報告

(1)令和2年度図書館利用状況について

《事務局説明》

（委員からの質問なし）

(2)令和2年度図書館事業実施状況について

《事務局説明》

（委員からの質問なし）

(3)令和2年度蔵書点検報告について

《事務局説明》

（委員からの質問なし）

(4)令和3年度図書館事業計画について

《事務局説明》

○委員

電子図書館は非常に魅力的だと思うが、それに伴う個人情報の保護についてどのような対応をしているのか。

○事務局

電子書籍ということで個人情報保護の点では最大のリスクを考えなければいけない。電子書籍にも自治体が発行する媒体を電子書籍化して閲覧できるとか、学校等での活動に協力できるような資料を提供したりするが、あくまでも客観的な資料に努め、個人の特典できるものが流出しないように最善の注意を払って提供をしている。

協議

(1)第2次燕市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

《事務局説明》

(委員からの質問なし)

その他

○委員

電子図書館についてどのような利用状況になっているのか。資料はあるのか。

○事務局

資料としては準備していないが、2月2日に電子図書が始まり、今現在タイトル数が1,439タイトルある。

男女合わせた利用者数は2月2日から6月30日の間で5,594名となっている。年代別で見ると一番多い利用が40代で21.3%、次が30代で18.9%、次が50代で18.1%、次が60代、その次が70代である。30代から60代で利用の73%の構成比を占めている。

読書の利用が多いシニア世代は、あまり利用されないのではという先入観があったが、読書意欲という観点、IT関係が普及しているということもあり、予想以上に40代から70代の方が利用されていた。

対照的に6歳から12歳の小学生の利用が7%ほどの状態である。

利用数についてはもう少し増強していきたい。何らかの形で電子図書館の体験会を実施したいと思う。また中高生の方にこういった形で図書館の利用ができることを伝えていきたい。

コンテンツについては、短いもののほうが好まれている傾向があるので、選書についても工夫してやっていきたい。

閉会